



令和5年4月1日付け 人事異動



人事異動の基本方針

① 未来への確かな布石となる施策を推進することができる人財の登用

ポスト・コロナの大きな変化の時期を迎えている本県において、社会全体のDXの推進や脱炭素化を通じた経済成長の実現に向け、想像力を働かせ、柔軟に、所管に囚われずに行動できる人財を登用する。

② 困難な課題にチャレンジしている人財の登用

日本一暮らしやすい埼玉の実現に向けて、「県民目線」、「コスト意識」、「縦割り行政の打破」を意識して、行財政改革をはじめ、コロナ禍や原油価格・物価高騰の危機への対応などの本県の困難な課題にチャレンジしている職員を積極的に登用する。

③ マネジメント力ある人財の登用

大きな変革期に必要な若い職員の感性やアイデアを引き出すなど、個々の職員の意欲、能力を高め、県庁一丸となって業務を遂行するマネジメントができる職員を積極的に登用する。

異動者数

(教育局、警察本部を除く)

2,312名 (前年度比▲106人)



令和5年4月1日付け 人事異動



ポストコロナの新たなスタートに向けて、プロジェクトを強力に推進できる体制にするため、大幅に人心を一新

特別職 への登用

副知事	堀光 敦史	(59)	企画財政部長から
下水道事業管理者	山崎 達也	(60)	保健医療部長から

部長 への登用

知事室長	板東 博之	(59)	産業労働部長から
企画財政部長	中山 貴洋	(44)	統括参事から
総務部長	三須 康男	(58)	危機管理防災部長から
県民生活部長	島田 繁	(56)	報道長から(昇任)
危機管理防災部長	犬飼 典久	(58)	環境部 副部長から(昇任)
環境部長	細野 正	(58)	人事委員会事務局長から
保健医療部長	表 久仁和	(57)	県立病院機構 副理事長から
産業労働部長	目良 聡	(58)	環境部長から
農林部長	横塚 正一	(58)	農林部 副部長から(昇任)
県土整備部長	金子 勉	(59)	企業局長から
都市整備部長	山科 昭宏	(58)	県土整備部 副部長から(昇任)
会計管理者	廣川 達郎	(58)	税務局長から



令和5年4月1日付け 人事異動



女性活躍の推進

- ・女性職員の積極的な職域拡大・人材育成に配慮した人事配置
- ・女性管理職の人数・割合は過去最高を更新
- ・令和5年度も本庁のすべての部局に女性課長を登用

○女性職員の登用状況

女性管理職	令和4年度	令和5年度
人数	111名	117名
割合	13.2%	13.8%

女性活躍に向けた主な取組

民間企業でのシャドウイング研修 **新規**
 民間企業の幹部の出張等に同行して働き方を学び、意欲を向上

庁内インターン
 議会答弁や重点事業を検討する場に同席し、経験面の不安を解消

○県政の重要課題にあたる部長級局長に登用

行政・デジタル改革局長 堀口 幸生 (56) 行政・デジタル改革局長(副部長級)から(昇任)
 少子化対策局長 岩崎 寿美子 (56) 統括参事から(昇任)

○初めて女性を登用(課長級以上)

生産振興課長 今西 典子 (54) 本庄農林振興センター所長から



令和5年4月1日付け 人事異動



部局の縦割りを超えた「プロジェクト型」人事

PM …プロジェクトマネージャー

- ・ **即戦力・突破力**を有し、所管にとらわれず**プロジェクト**を推進できる人材を配置し、**兼務を発令**

○埼玉版スーパー・シティプロジェクトの推進

環境部 兼務	PM 環境未来局長	横内 ゆり	(54)	留任
	政策・財務局長	都丸 久	(55)	財政課長から(昇任)
	県土整備部 副部長	武澤 安彦	(54)	県土整備政策課長から(昇任)
	都市整備部 副部長	坂田 直人	(57)	東部地域振興センター所長から

○観光振興の促進

産労部 兼務	PM 地域経済・観光局長	野尻 一敏	(56)	産業労働部 副部長から(昇任)
	県民スポーツ文化局長	影沢 政司	(56)	芸術文化振興財団専務理事から

○アグリテック／フードテックの推進

農林部 兼務	PM 農林部 副部長	片桐 徹也	(53)	人事課長から(昇任)
	産業政策局長	浪江 治	(55)	都市整備政策課長から(昇任)
	環境部 副部長	佐藤 卓史	(56)	(株)さいたまアリーナ常務取締役から